



全自動充電器

SG₁-24-25CT

取扱説明書

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全に正しくご使用いただくために」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

株式会社 GSユアサ

□ はじめに

このたびは電動車用全自動充電器をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
全自動充電器 S G₁ - 2 4 - 2 5 C T は放電量の変化・充電中の温度変化等をバッテリー状態検知リレーで判断し、放電量に呼応した充電量を I C タイマーで設定するため使用状態の異なるバッテリーの充電を行なっても過不足のない適正な充電量が期待できる充電器です。

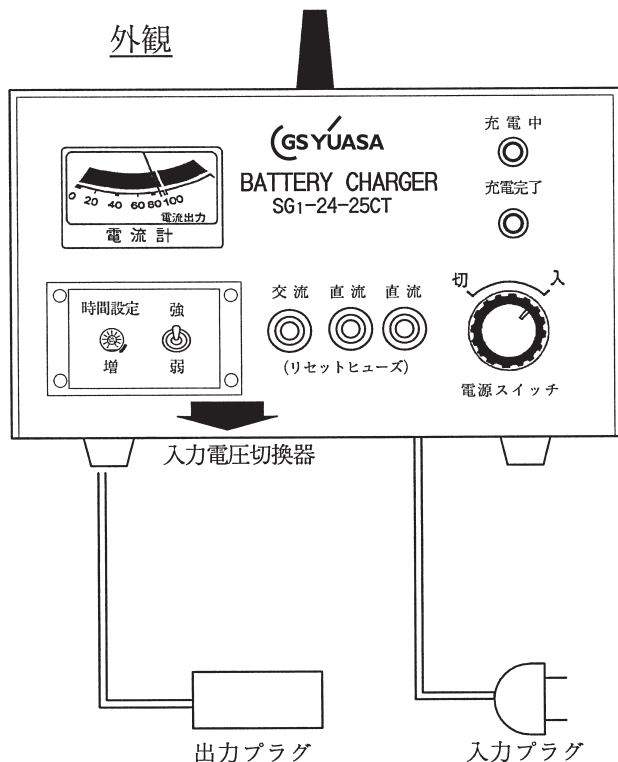
さらに、面倒な操作スイッチを極力排除し、お客様がバッテリーに充電コードをつなぐだけで所定の充電時間で自動停止する全自動回路になっております。多量の台数を管理しておられるゴルフカート・市場内荷役電動車・スーパー・ファクトリーオートメーションとして活躍しているロボット車等の（24 V 用）サイクルサービス用開放型鉛バッテリー充電に最適な充電器です。

お使いになる前にビニールカバーを必ず外し、取扱説明書に従って、正しくご使用ください。お読みになった後も大切に保管して、ご活用ください。

□ 定格と仕様

項 目	内 容		
形 式	S G ₁ - 2 4 - 2 5 C T		
冷 却 方 式	自 然 冷 却		
整 流 方 式	両 波 整 流		
入 力	交流単相 100/200 V 50/60Hz 850 V A		
出 力 バ ッ テ リ ー 負 荷		直 流 電 圧	直 流 電 流
	24 V バッテリー充電時	25.5 V	20 A
適 合 バ ッ テ リ ー	E B 1 0 0 ～ E B 1 6 0 × 2 個 24 V 100～160 A h (5 H R)		
I C タ イ マ	設定時間2.5～10時間 任意 動作基点 バッテリー容量の約80%付近		
保 護 装 置	交 流 側	リセットヒューズ 13A	
	直 流 側	リセットヒューズ 20A 2 P	
寸 法 質 量	高さ 211 幅 280 奥行 250 単位mm (取手含む) 約12.5Kg		
コ ー ド	交 流 側	2 Sq 3 心 2 m	黒線 アース
	直 流 側	3.5 Sq 2 心 3 m	
塗 装 色	金箱カバー 黄色 パネル 黒色		
付 属 品	取扱説明書(保証書付)		
プ ラ グ	入・出力プラグ付		

□ 各部の名称とはたらき



名 称	は た ら き
充電完了表示灯	充電が完了すると赤色点灯します。充電は停止しています。
電源表示灯透明	出力プラグをバッテリーに接続し、入力プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にすると点灯します。点灯と同時に充電が開始されます。
直流電流計	充電電流を指示します。指示は定格電流の%表示です。 0-100%目盛
リセットヒューズ 交流側	交流・直流側に過大電流が流れると赤色ボタンがとび出し回路を保護します。異常のないことを確認し、しばらく（約10秒）して再度ボタンを押すと回路は復帰します。
リセットヒューズ 直流側	直流側に過大電流が流れると赤色ボタンがとび出し回路を保護します。異常のないことを確認し、しばらく（約10秒）して再度ボタンを押すと回路は復帰します。
電源スイッチ	自動充電中に意識的に充電停止したい時は切にします。 常時は入にしておいてください。
入力電圧切換器	底面に入力電圧切換器があります。使用電源電圧に合わせて設定してください。標準出荷は100V設定です。
タイマ時間設定	アクリル板を取り外しバッテリーに適合した充電時間に設定してください。最初設定すれば以降設定不要です。充電完了後はオートリセットします。
強弱切換スイッチ	バッテリー温度により切換ます。屋外での充電は 夏＝弱 冬＝強です。

ご注意；タイマ時間設定・強弱切換スイッチは常に設定するものではありませんので、初期設定後はアクリル板を取り付けておいてください。

□ 設置後の初期設定

■ タイマ時間設定

前面パネル取付のアクリル板を取り外し、小型ードライバでタイマ時間設定つまみを右表に従って設定してください。

時間設定 初期設定後は固定です。



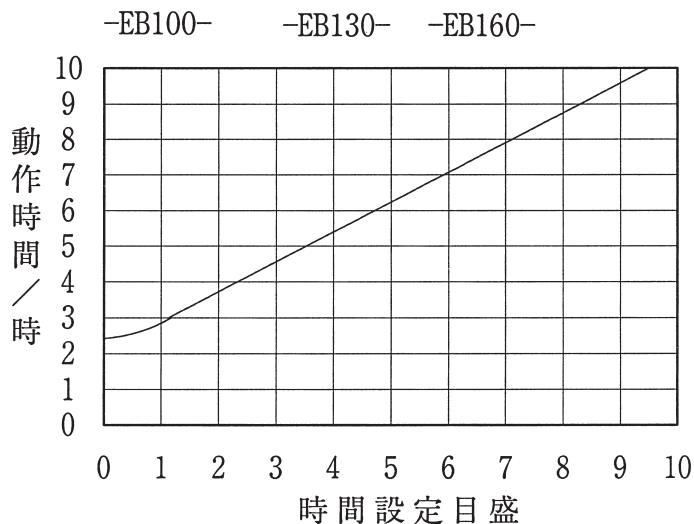
■ 充電電流調整

上記パネルを外し、初期設定してください。
夏(4～9月)；弱
冬(10～3月)；強

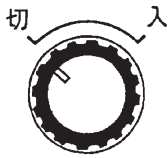


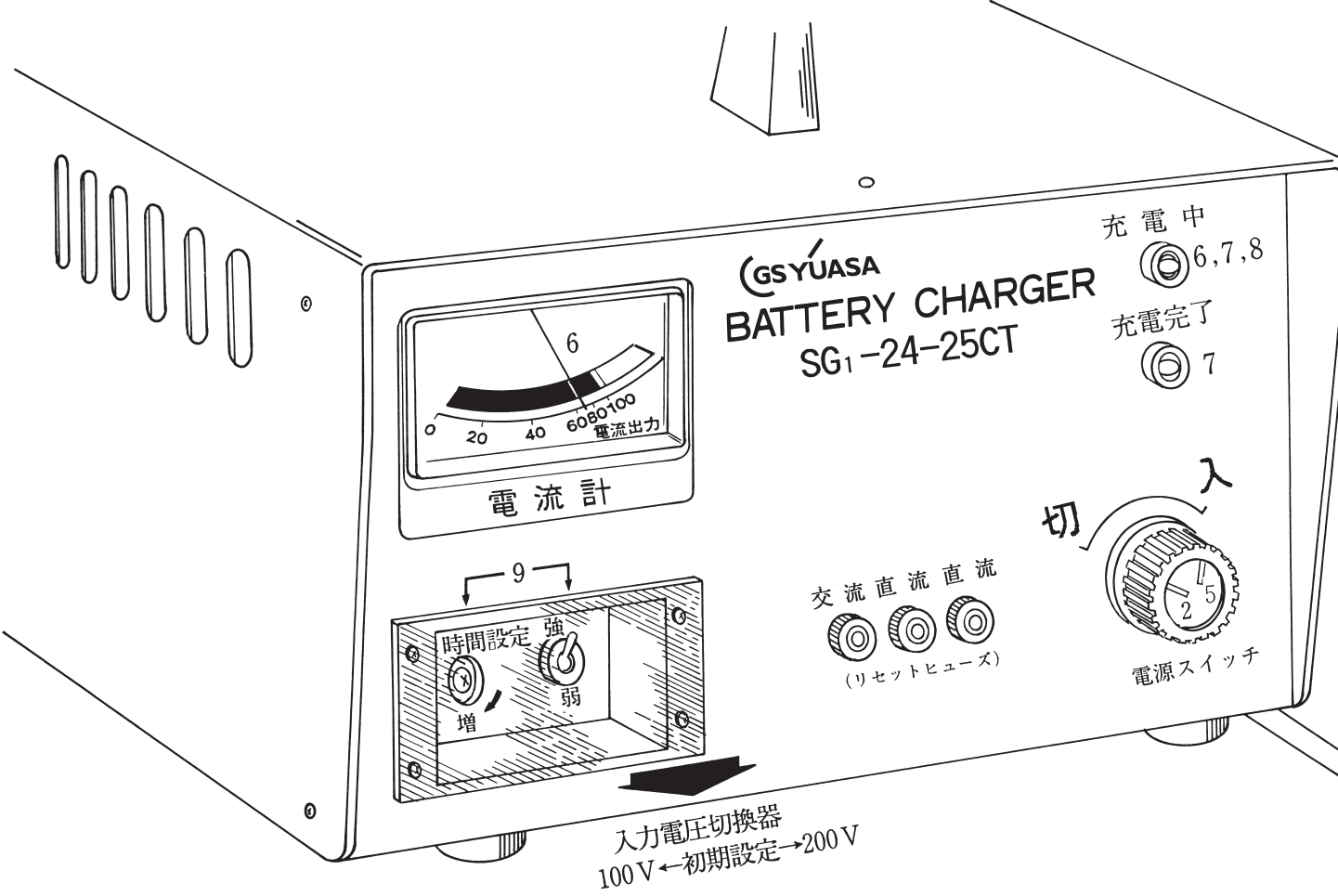
■ 入力電圧設定

本体底面の入力電圧切換器によりご使用電源電圧に初期設定してください。



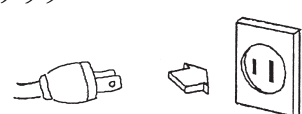
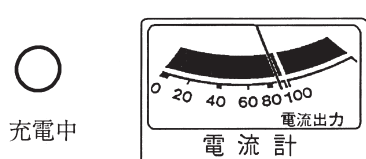
＝□使用方法＝

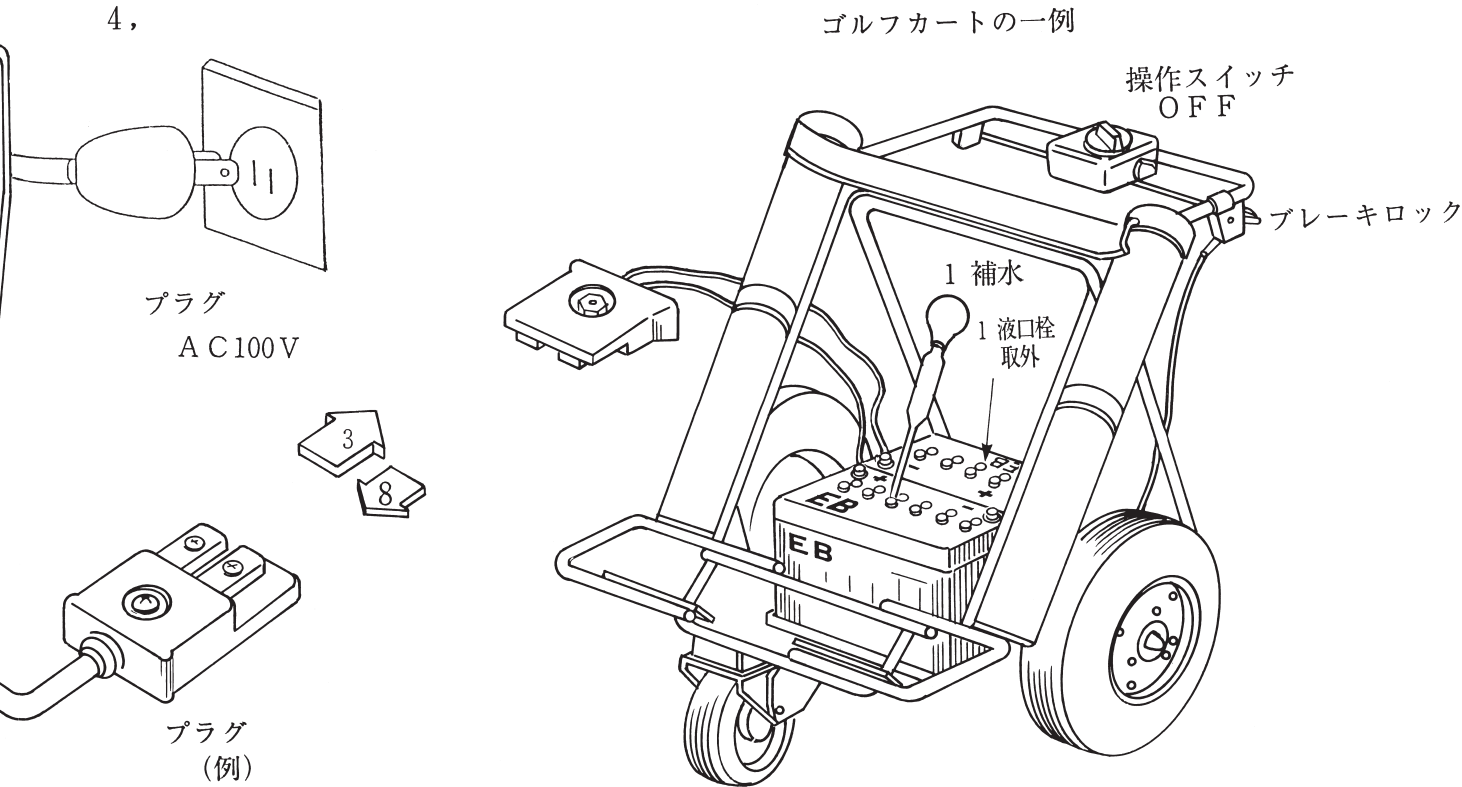
1，充電準備	2，ツマミ位置の確認	3，バッテリーの接続
○バッテリーの液面を点検してください。 液面線間の中間以下に低下している場合は最高液面線（UPPER LEVEL）まで精製水を補充してください。 ○バッテリーの液口栓は全部取外してください。（取外せないものを除く）	 ○電源スイッチを"切"にします。	 例) D1プラグ D1プラグ バッテリー ○バッテリーの端子を充電器充電プラグに極性を間違えずしっかりと接続します。 ○充電プラグの形状が合わない時は、極性に注意して取り替えてください。



注 EB130,等については、ICタイマ、電流調整を適宜調整・設定してください

7，充電完了	8，あとかたづけ	9，充電時間のめやす(新品バッテリーAC100V60Hz)例		
 充電中 (消灯)  充電完了 (点灯) ○充電後期からICタイマがバッテリー状態にあわせ演算し設定時間で充電完了になります。 ○充電中表示灯は消灯、充電完了表示灯は点灯になり、自動停止します。	 充電中（消灯確認）  ○充電中表示灯が消灯したことを確認して電源スイッチを“切”にします。 ○バッテリーの液口栓はもと通りしめてください。 ○充電プラグをバッテリー端子より抜きます。 ○車両内配線をもと通りにしてください。	使用バッテリー	EB100	EB160
季節	夏：冬	夏：冬		
電流調節	弱：強	弱：強		
ICタイマ設定時間	3：3	6.5：6.5		
トータル充電時間	約	約		
放電100%	10：10	16：16		
トータル充電時間	約	約		
放電50%	7：7	10：10		

4, 電源プラグを入れる	5, 電源スイッチを入れる。	6, 充電開始
プラグ コンセント  ○ ACコンセントに電源をいれます。 ○ AC200V入力でご使用の場合はAC200V用プラグ（アース付）に取り替えてください。赤白が電源、黒がアースです。	切 入  電源スイッチ ○ 電源スイッチを右に回し"入"にします。	充電中  ○ 充電中表示灯が点灯し、自動充電が開始されます。 ○ 充電電流を電流計が指示します。



□チェックリスト

充電器の運転に際し、次の点に留意し操作を行ってください。

	状 況	原 因	処 置
充電電流が流れない	充電中表示灯が点灯しない。	○電源がきていない。	○電源を確かめプラグをしっかりと差込みます。 ○リセットヒューズボタンを押します。 ○入力電圧切換器を使用電源電圧に合った位置に設定します。 ○充電プラグがバッテリーに確実に接続されているか確認します。 ○電源スイッチが入を確認します。
	充電中表示灯が点灯する。	○本器内直流側に電気がきていない。	○リセットヒューズボタン(直流)を押します。 ○充電プラグに熱をもっている。
その他	充電はするが、自動停止しない。 充電完了表示灯が点灯しない。	○ICタイマーが働かない。	○充電プラグに一部接触不良がある。端子をみがき確実にバッテリーに接続します。
	リセットヒューズがよく遮断する。	○過大電流	○規定以上の電流(出力短絡など)が流れた場合に遮断します。異常箇所を直し、しばらく(約10秒)してから再びボタンをおしてください。
	その他の異常	○運転順序の通り操作しても異常がある。	○異音、異臭などが発生したら直ちに電源プラグを抜き販売店にご相談ください。
注意	○リセットヒューズ(交流;13A、直流;40A)の特性として定格電流を超えて流れた場合、回路保護を目的に遮断するようになっておりますが、使用される電源電圧が(夜間においても)本器の入力許容値を超えて使用し本器内の温度が異常に上昇した場合およびこれが原因で遮断頻度が高い場合は、定格電流付近でも遮断することがあります。この時は電流調整を弱でご使用ください。		

【注意】

- 充電終了後は、速やかに出力プラグをバッテリー端子から外してください。
終了後、長期間(2日以上)出力プラグをバッテリー端子に接続したままの状態にしておくと充電完了表示灯などの点灯バッテリーが放電します。
- バッテリーを長期間充電せずに放置した場合や使用後充電をしないで放置した場合および深い放電をした場合などでバッテリー電圧が約20V以下になってしまうと、正常な充電作業を行っても充電ができなくなります。
※充電を開始させるためには、別の充電器で補充電し、バッテリー電圧を20V以上にしてください。
- タイマー時間設定は、バッテリーの新・旧や使用状態などにより適宜調整してください。